



B2 ニュースレター

2024/12/27

来期の観光協会の主な事業
齋藤所長と行くスノーシューツアー

自国ではできないたのしい雪遊び@ふぁーむいん富田

令和6年度第3四半期を終えて

こんにちは。事務局長の河又です。

着任から9カ月が経ちました。見慣れてきた町の風景もすっかり雪景色へと変わり、気がつけば令和6年も残すところ僅かとなってまいりました。

さて、今回は、現在、役場の方と調整を進めております次年度に向けた「観光協会の活動方針」について、皆さまにその概要の部分(方向性のイメージ)をお示したいと思います。

■ 令和7年度「黒松内町観光協会の活動方針(案)」

(1) 黒松内町に観光客を呼び込むための仕掛けづくり

⇒ 協会ホームページ、SNS、取引旅行会社の精査&見直しを行い、正しい情報を必要な人に適切な方法で届けられる体制を整えます。

(2) 黒松内町を訪れる観光客にお金を使ってもらうための取り組み

⇒ 主力である体験型商品の強化・見直しを図るとともに、新たなお土産商品の開発を行うなど町内でお金を使っていたりするための選択肢を増やします。

(3) 人材の育成と環境・仕組みづくり

⇒ 上記(1)(2)の課題を遂行する上で最も重要となる「人材(=プレイヤー)の発掘・育成」を推進するとともに、観光で得た利益が町民に還元される仕組み(持続的な観光振興)づくりに取り組んでまいります。

令和7年度に取り組むべき重点課題は上記の3点とし、今一度、初心に立ち返って「観光協会のミッション(=観光をフックに地域経済の発展に貢献すること)」を達成するためには今何をすべきなのかをしっかりと見極め、1年をかけて新たな体制への転換に取り組んでまいりたいと思います。

なお、上記方針に基づく具体的なアクションプランについては、来年2月を目途に策定する予定ですが、一部、「森林療法を活用した新しいブナ林ウォークの商品化」や「新たな販売チャネルの開拓(北海道アドベンチャートラベル商談会や北海道教育旅行相談会への参加など)」といった取り組みについては、計画を前倒し形で今年度より進めてまいります。

最後となりますが、関係の皆さまにおかれましては、日頃より多大なるご支援・ご協力を賜り、本当にありがとうございます。この場をお借りしてあらためて感謝申し上げますとともに、来年も引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。どうか良いお年をお迎えください。



【令和6年度第3四半期を終えて】

来年以降に向けてのお話

【フットパスクラブ通信年末特大号】

年末特番っぽく豪華2本立てです。

①全道フットパスの集いに行ってきました!

②秋のグルメフットパス報告!

【ヘルスツーリズム】

今年2度目のヘルスツーリズムのイベント開催!

来年の商品化へ向けて頑張ってます!

【じり通信No.34】文: 山本竜也

噛まれたり、アレルギーになったりするアイツについてふわり語ってれています。

【ちゃっかりPRコーナー】

なんか観光協会のホームページってちょくちょく変わってるよねという話。

協会主催・協カイベント

齋藤所長と行くスノーシューシリーズ

来年2月と3月に開催予定です。

詳細はホームページ・SNS等で発信していきます。

観光交流ネットワークミーティング

今回はAT専門家の派遣制度を利用!

2/4(火)と2/7(金)に開催予定です。

冬のフットパスイベント

3/2(日)開催予定です。

詳細はホームページ・SNS等で発信していきます。



フットパスクラブ通信Vol.18年末特大号

今回のフットパスクラブ通信は2本立てとなります！

1.全道フットパスの集いinかみふらのへの参加

黒松内フットパスクラブは10月12日、13日と2日間の日程で行われた「全道フットパスの集いinかみふらの」へ会員6名、事務局1名の計7名で参加し、黒松内町より一足早い紅葉の景色を楽しみました。

1日目は午後から「草分けの丘パス」という起伏のある農道を歩きフラワーランドかみふらのを経由して周回する約5.5kmのコースを歩きました。その後、情報交換会、交流会が行われBBQ、恒例の抽選会で他団体の皆様と交流を深める事が出来ました。

翌2日目は2コースの選択制でしたが全員「泥流地帯フットパス」コースを選択。約4時間をかけ、6.6kmのコースを歩きました。歩いたコースはかつて十勝岳にて噴火が発生し、噴火口付近に積もっていた雪をとかし泥流となり、噴火後わずか30～50分で上富良野市街へ辿り着き多数の死者を出しました。泥流は硫黄分を含む強酸性で植物が育たない土地となりましたが、そこから復興し広大な農地となるまでの歴史を歩きながら学べました。

「草分けの丘パス」も同じく重要な説明ポイントはガイドが自ら作成した紙芝居を披露し参加者を楽しませるとともに注目を集めるという手法として有効であると非常に参考になり、有意義な2日間となりました。(事務局 岡本)



2.秋のくろまつないグルメフットパスの実施

10月20日(日)黒松内フットパスクラブ主催イベント「秋のくろまつないグルメフットパス」が行ない、参加者は一般参加10名、フットパスクラブ6名、スタッフ5名の総勢21名の参加となりました。コースはチョコシナイコースの一部を使い、東山の山頂からスタートしピークに近づきつつある紅葉を眺めながら山を下り、千葉牧場を超え農道の河川名標識をゴールとする約5kmをゆっくりと歩きました。ガイドはいつもご対応いただいている辻野健治さん、治子さんご夫妻に行っていました。

当日の天気は晴れでやや風が強く肌寒い状態でしたが、歩くには良好なコンディションでした。身体が温まってくる頃合いの約30分おきに休憩地点を設け、その際に今回のメインとなるグルメBeech caféのスコーン、木村屋菓子舗のクッキーシュー、観光協会からはブナサブレとホットコーヒー、最後に道の駅の10種類の総菜パンを各地点で頬張りました。また、千葉牧場からは野菜販売を行っていただき、見た事もないような大きな大根、キャベツが格安で販売され多くの参加者が千葉さんとの会話を楽しみながら購入していました。



今回はスタッフ5名と例年と比べ少ない状態でしたが、皆さんの笑顔と共に無事に終える事が出来ました。(事務局 岡本)

ヘルスツーリズム

黒松内の真骨頂「ヘルスツーリズム」いよいよ本格始動

11月24日(日)に黒松内ヘルスツーリズム推進協議会主催の「黒松内癒しのブナ林楽しみ方講座・秋」が開催されました。このイベントは心や体の健康づくりのために、ブナ林を歩きながら“五感を使ったプログラム”を楽しみます。

今回は屋外で目をつむり風や川、鳥のさえずりなど自然の音に耳を澄ませたり、フカフカな「落葉絨毯」の上を散歩、トドマツの葉の香りを嗅ぐなどリラックス効果のある体験を行いました。さらにお昼には「秋の健康ランチ」が振舞われ、食後はトドマツの蒸留体験をするなど、参加者たちは一日中癒されたプログラムだったかと思います。

黒松内ヘルスツーリズム推進協議会が立ち上がってから今回で2回目となる“デモツアー”でしたが、来年度からいよいよ本格的なツアー商品として売り出していく予定です。観光協会ではこのヘルスツーリズムが黒松内町の「新観光商品」となるよう今後も尽力していきます。

現在観光協会で扱っているグリーンシーズンのアクティビティは黒松内町ではなくとも、他所でいくらでもでき、しかも内容が見劣りするなどの理由から集客力がありませんでした。

しかしこのヘルスツーリズムは黒松内町の豊かな自然を生かした“オンリーワンの癒し体験”です。しかもこれまで町内でつながりのなかった町内の各団体が丸となって取り組んでおります。今後の発展に乞うご期待です！
(事務局・古本)



じり通信No.34

ダニモマケズ

山に入るときには長袖長ズボンで、帰ってきたらすぐにシャワーを浴びる、とよく言われる。ヤブに入るのも控えた方がいいらしい。が、そんなことを言っていたら、山菜は採れない。したがって、ときおりダニに食いつかれる。

はじめてやられたのは15年ほど前、場所は太ももだった。あわてて病院に行ったら、姿が見えない。看護師さんがズボンを確認すると、裏側を這いずり回っていた。いったん食いついたものの、太ももはお気に召さなかったらしい。

二回目は10年ほど前、左胸をやられた。ネットで調べると、アルコールが苦手だとか、ねじれば取れる、とか書いている。その通りにしてみたら、頭がちぎれて残ってしまった。結局、病院行きである。麻酔を打たれ、ほじくりだされた。

三回目はこの秋である。ナメコ採りから帰ってきたら、脇腹に取り付いている。10月末ともなれば気温は低く、ダニの心配はないという自説があっさり覆された。前回痛い目にあったので、素直に病院に行く。医者がプラスチック製の画鋲外しみたいなのを持ってきた。私の腹にそれを押し付けてひねる。あっけなく外れた。神業を見た。

この道具があれば、自分でも対処できるのかしら。しかし、頭だけ残ったときのあの嫌な気分はもう味わいたくない。やはり最初から病院か。



※若干センシティブな画像のためイラストに差し替えています
HP上ではリアルなダニの写真も見られます(宣伝?)

ちゃっかりPRコーナー

私が犯人です。

今年の春から観光協会に入ってもう年末になってしまいました。早いもんですね。(月並みな挨拶)
 当て逃げにあたり、知らないうちにヤング風のお姉さんに服装をディスられる40手前のパーカーおじさんの担当記事でございます。

基本的には裏方の事務屋さんなのであまり表に出ることはないんですが、人目につくものとして観光協会のホームページのお世話をしています。そんなホームページの認知度向上も兼ねて今回はちょっとだけお話しします。

2月くらいだったかな？観光協会に応募したときにスマホからホームページを見て思ったんですね。「ああこりゃあとんでもないクソホームページだ！」と。PC版だとそこまで崩壊してないのでなんだコリャ？おま環？と思っていました。

実際に中の人になってみると、スマホ版はエディタ上でも乱れに乱れており、本当にクソだったので安心しました。(おま環じゃなかった！)
 そんなわけで「とりあえずPC版もスマホ版ともに見られる形にする」という最低限の目標を立て、夏前くらいまで弄り倒して今に至っております。えいやで作ったお知らせコーナーが割とアクセス数稼いでいるのは意外でした。見てくれる方ありがとうございます。

第1弾は最低限見られるようにするという改修でしたが、第2弾として冬のちょっとひま・・・時間に余裕のあるタイミングでコンテンツやレイアウトを整理して、保守・メンテのしやすい「もう少しまともなホームページ」にしようとしています。
 遅くとも3月中には今の形から入れ替える予定です。次のB2の頃にお披露目かな？？気長に待っててくださいませ。

おまけで怪しげなブログもホームページに隠しているので、暇だったら探してみてください。(露骨なアクセス数稼ぎ
 だし、見つけたところで毒にも薬にもならないような内容なので、過度な期待はしないでください。

というわけで来年も黒松内町観光協会をどうぞよろしくお願いします。
 ホームページはおまけ程度でよいので応援してくださると幸いです。(事務局 遊佐)

※おま環：「お前の環境だけで起こっている」という意味のネットスラング



観光協会HPにて[B2]バックナンバーがご覧になれます。

www.bunatatourism.com

印刷版をご希望の方は観光協会までご連絡ください。

発行人：一社) 黒松内町観光協会 発行日：2024/12/27 次回発行予定は3月末
 TEL：0136-72-3597 FAX：0136-75-7070 Mail：bunatatourism@gmail.com